

一般開業医のための 『小児歯科臨床のヒント』

『これ、どうしよう？』子どもの口の中やエックス線写真を診て、そう思ったことはありませんか。保護者の方にどのように説明してよいか迷ったことはありませんか。乳歯のう蝕は数が減り、程度も軽くなって、う蝕の治療で迷うことは少なくなったと思いますが、う蝕以外にも小児の歯科的異常は少なくありません。

少子化のため、以前にも増して子ども一人一人に対する手厚い医療が求められています。同時に、保護者の方々の口腔の健康への関心も高くなり、低年齢から定期的に歯科を訪れる子どもが多くなってきており、混合歯列期に入ると、う蝕の予防だけでなく、歯の萌出や歯並びの異常に対する相談が以前に比べると増えています。

午前の部（講義編）では、小児期の歯の萌出障害をテーマに講演を行い、いくつかの代表的な症例を提示した上で、歯の萌出障害に対する治療方針の一般的なガイドラインを紹介いたします。「あれ？おかしいな」と、できるだけ早期に異常に気づくことが大切ですが、どのような徴候を異常としてとらえればいいのでしょうか。異常を認めた場合に、何が治療の第一選択となるのでしょうか。その治療効果をどの程度の期間追って、次の手を打てばいいのでしょうか。

講演後は、各受講者の方々からお持ち頂いた実際に悩んだ（いる）症例について、『小児歯科よろず相談』と題して、適切な治療方針を一緒に考えたいと思っています。萌出障害に限らず、外傷や心身障害児への対応等でも構いません。相談用症例は当日も受け付けますが、スキャナーがあれば申込書（別紙）と一緒に資料を取り込んでメールで事前にお送りください。当日も受け付けておりますので、申込書と資料を受付でお預かりいたします。

午後の部（実習ならび症例相談編）では、乳歯列から永久歯列への咬合誘導の基本的な概念を説明したのちに、代表的でシンプルな動的咬合誘導用可撤装置を実際に製作して頂きます。また、症例相談があれば実習の間に個別に対応いたしますので、担当のインストラクターに気軽にお声をおかけください。

実際の申し込みについては、後日（9月）に御案内いたしますので、宜しくお願いします。

日 時：平成18年11月19日(日)
担 当：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野

午前の部（講義編）

9：00～12：20

場 所：新潟大学歯学部大会議室2F

担 当：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野

受 講 料：5,000円

募集人員：80名程度

午後の部（実習ならび症例相談編）

13：30～16：20

場 所：新潟大学医歯学総合病院歯科病院大会議室、5階学生実習室

担 当：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学教室

受 講 料：15,000円(昼食代別)

募集人員：30名

タイムスケジュール

午前の部（講義編）・参加費：5,000円 募集人員：80名程度

場所：学部大会議室

8：30～9：00 相談用症例受け付け

9：00～9：10 セミナー開講にあたって

9：10～10：30 歯の萌出障害Ⅰ

－乳歯，上顎前歯，下顎小臼歯，第1大臼歯－

講師・野田 忠

10：30～11：10 歯の萌出障害Ⅱ

－犬歯，上顎小臼歯－

講師・田口 洋

11：10～11：20 休 憩

11：20～12：20 『小児歯科よろず相談』症例検討・質疑応答

12：20～13：30 昼 食（引き続き）

午後の部（実習ならび症例相談編）・参加費：15,000円 募集人員：30名

場所：病院大会議室、5階学生実習室

13：30～14：10 混合歯列初期の動的誘導の考え方と実際

14：10～16：00 動的誘導用可撤装置の作成ならびに症例相談

16：00～16：20 質疑応答ならび午後の部閉幕の挨拶